

## 中野区教育ビジョン(第4次)素案に対する意見及び計画案に向けた検討について

中野区教育ビジョン(第4次)素案について、意見交換会を実施し、以下のとおり意見をとりまとめたので報告する。

また、区民意見等を踏まえ、教育委員会において計画案に向けて検討していく。

### 1 意見交換会の実施状況

#### (1) 意見交換会

会場	開催日	参加人数
東部区民活動センター	令和4年12月13日	1人
沼袋区民活動センター	令和4年12月16日	3人
区役所	令和5年1月8日	20人
合計		24人

#### (2) 関係団体説明会

会場	開催日	参加人数
私立幼稚園連合会	令和4年12月5日	20人
中学校PTA連合会	令和4年12月10日	12人
次世代育成委員	令和4年12月13日	16人
町会連合会	令和4年12月13日	25人
小学校PTA連合会	令和4年12月17日	15人
民間保育所・認定こども園等連絡会	令和4年12月21日	109人
民生児童委員協議会	令和4年12月23日	28人
医師会	令和4年12月27日	21人
歯科医師会	令和5年1月25日	16人
合計		262人

### 2 意見等の概要

別添「意見等の概要及び区の考え方」のとおり

参考資料1 「教育ビジョン(第3次)改定に伴う教育委員会における主な意見」

参考資料2 「中野区教育大綱と中野区教育ビジョン(第4次)」

### 3 意見交換会等での意見を踏まえた修正案

<b>《修正案①》 子どもの権利条例について</b>	
1	<p>(素案 P2) 第 1 章 2 教育ビジョンの位置づけの本文の追記</p> <p>…「中野区基本構想」や「中野区基本計画」及び「中野区教育大綱」、<u>「中野区子どもの権利に関する条例」の趣旨を踏まえ、策定しました。</u></p>
2	<p>(素案 P17) 目標Ⅲ 現状と課題の本文の追記</p> <p>…令和 4 年 3 月に制定した<u>「中野区子どもの権利に関する条例」の趣旨を踏まえ、学校における様々な教育活動を推進していく必要があります。</u></p>
3	<p>(素案 P20) 目標Ⅲ 取組の方向性 ①豊かな心を育む教育の充実の本文及び主な取組内容の追記</p> <p>…令和 4 年 3 月に制定した<u>「中野区子どもの権利に関する条例」の趣旨を踏まえ、子どもの権利について、児童・生徒が知る機会を設けるとともに、自分の意思や考え、思いを表明する取組を充実します。</u></p> <p>(主な取組内容)</p> <p>○<u>「子どもの権利」に関わる学校での取組の充実</u></p>
<b>《修正案②》 多様な人間性について</b>	
1	<p>(素案 P3) 目指す人物像中、多様な人間性を認め合いの注釈の追記</p> <p><u>*多様な人間性を認め合いとは、全ての人、性別、性自認、性的指向、国籍、人種、民族、文化、年齢、世代、障害その他これらの複合的な要因による差別を受けることなく、それぞれの能力を發揮し、地域社会の一員として暮らすことができること。</u></p>
2	<p>(素案 P44) 参考資料 用語の意味の追記</p> <p><u>中野区人権及び多様性を尊重するまちづくり条例第 2 条では、「全ての人、性別、性自認、性的指向、国籍、人種、民族、文化、年齢、世代、障害その他これらの複合的な要因による差別を受けることなく、それぞれの能力を發揮し、地域社会の一員として暮らすことができること。」としている。教育委員会では、これを受けて多様な人間性とは、「性別、性自認、性的指向、国籍、人種、民族、文化、年齢、世代、障害その他」としている。</u></p>

### 4 今後の予定

- 令和 5 年 3 月 意見交換会結果及び計画案、パブリック・コメント手続の実施について議会報告
- 3 月 計画案に係るパブリック・コメント手続の実施
- 5 月 教育ビジョン (第 4 次) 策定
- 6 月 パブリック・コメント手続結果及び計画策定について議会報告

## 意見等の概要及び区の考え方

## 【計画全体に関すること】

No.	項目	区民からの意見・要望	意見交換会等での区の回答
1	計画期間	・新型コロナウイルスなどの新たな大きな課題があったときには、計画期間中であっても教育ビジョンを見直すのか。	・計画期間は10年間としているが、概ね5年を目途に教育を巡る状況の変化を踏まえ必要な改定を行う予定であり、その間の新たな課題について、適宜必要な対応を図っていく。
2	中野区子どもの権利条例	・中野区子どもの権利条例ができたが、教育ビジョンの中でこれに関する表記がないため、教育ビジョンにもこの条例の内容をしっかりと入れ込んでほしい。	・子どもの権利条例そのものの言葉の記載はないが、子ども権利条例の主旨は、教育ビジョンの中に含まれている。子どもの権利条例の内容について、教育ビジョンの中に記載はないので分かりやすい表記は検討していく。

## 【第2章 中野が目指す教育の姿】

No.	項目	区民からの意見・要望	意見交換会等での区の回答
1	教育理念	・教育ビジョンと教育大綱の理念について整合性がとれていないのではないかと。 ・教育ビジョンでは、個人レベルの目標だけになっているのではないかと。	・一人ひとりの可能性を伸ばすことが教育であり、どのように育てるかは、目指す人物像に表している。
2	目指す人物像	・教育ビジョン素案は「こういう人間になるのだぞ」と子どもたちを縛るものになっている。 ・「家族、わがまち、祖国を愛し、人とのつながりを大切にす人」は、内心の自由にかかわることにならないかと。	

## 【第3章 各目標】

No.	項目	区民からの意見・要望	意見交換会等での区の回答
1		・子どもたちの自己肯定感を育てていくことを重視するべきではないかと。	・自己肯定感を持った子どもたちに育てていくことが大切であると認識しており、教育ビジョンの中では豊かな心を育む教育の充実として記載している。
2	目標Ⅰ	・幼少期から小学生において、遊ぶことの大事さを位置付けてもらいたい。	・小さな子どもたちが遊びの中で育っていくことは理解しており、教育ビジョンで示している。また、身体を動かすことが好きな子どもを育てることをねらいとして運動遊びプログラムを作成し、活用も図っている。
3		・私立幼稚園においてもさらなる障害児の受入れ促進となる取り組みを進めてもらいたい。	・私立幼稚園での障害児の受入れを促進するために、専門的知識のある相談員による巡回相談や介助のための職員配置、受入れのための施設整備等に必要な補助を行っている。

No.	項目	区民からの意見・要望	意見交換会等での区の回答	
4	目標Ⅰ	・子育て家庭が孤立することのないよう地域から声かけし、安心して地域に参画するなど交流をもてるよう力をいれてほしい。また、地域の住民や団体が子育てについての経験や知識などを生かし、具体的に伝え、連携する関係づくりが大切である。	・子育てひろば等において、保護者同士が交流できる機会を提供したり、幼稚園・保育施設等で子育て相談や子育て教室を実施し、育児ノウハウを地域の子育て家庭に提供する等、孤立化や育児不安の解消を行う。	
5	目標Ⅱ	・障害があっても普通学級に通う子どももいます。同じクラスの仲間の1人としてという視点を入れていただきたい。	・特別支援学級と通常の学級の児童・生徒が、同じ場でともに学習や活動に取り組むことで、児童・生徒間の障害に対する相互理解を図っていく。今後も引き続き交流や共同学習を充実させていく。	
6		・障害児を含め、多様な特性を持つ児童・生徒たちが、単に他者への理解を得るだけにとどまらず、積極的に他者との関わりを持つようするためには、日常的な交流・共同学習による連帯感の醸成が不可欠である。		
7		・すべての児童・生徒の多様な特性に応じた教育支援・合理的配慮を行うため、指導員・支援員の増員を含む体制整備が必要である。		・任期付短時間勤務教員については、現在の配置に加え、学校規模に応じた増員を検討している。また、小学校の学級担任を補佐する職員の配置も検討している。
8		・AI機能を備えた学習支援ツールを活用して、一人ひとりの子どもに応じた教育を進めるべきではないか。		・現在、様々な学習支援ツールがあるので、子どもたちが活用することで、意欲が上がったり、子どもたちの成果が上がるというものを、導入していきたい。
9	・一人ひとりの発達に応じた教育を進めるべきである。	・児童・生徒一人ひとりの成長や個性に応じた指導に取り組んでおり、今後も充実させていく。		
10	目標Ⅲ	・教育センターは地理的に中野区全体の子どもたちを網羅できないのではないか。	・教育支援施設は、区内4か所で行っており、中部地域にある教育センター分室の活用も図っている。	
11		・不登校の子どもたちと不登校を経験したことがある大人との交流も必要ではないか。		・不登校経験のある高校生に教育支援室へ来て話してもらい、先輩たちの姿を見せるという機会を設けている。
12		・学校に通っている子どもたちの心身のケアのためにも、スクールカウンセラーと連携できる人材を増やしてほしい。		・各学校では、不登校対応担当教員が中心となってスクールカウンセラーと連携を図りながら、子どもたちの心身のケアにあたっているところである。
13	目標Ⅴ	・中野区立の小中学校でコミュニティ・スクールを進めるとのことだが、どのように進めていくのか。	・すでに導入している他自治体の事例を見ると、地域の良さを理解している人がいると先生も心強いようである。子どもたちのためになる中野区ならではのコミュニティ・スクールをつくっていく。	
14		・コーディネーター役は重要となると思うが、どういう方がコーディネーターになるのか。		
15		・地域の方の参加の視点がないと、教員の方への負担ばかりが増えていくことになる。先生頑張れという話になるのは、いかがなものかと。我々タイアした人間にも、できることがあるんだと思っていきたいと考えている。		・令和4年度よりモデル実施を行っている。令和5年度においても中学校区を増やしモデル実施を行う予定である。

No.	項目	区民からの意見・要望	意見交換会等での区の回答
16	目標 V	・教育ビジョン素案の22ページ【家庭の取組】3つ目「・・・責任感をもたせるため」「・・・自分の役割をもたせる」などの“もたせる”という表現を命令口調ではなく、“育む”等に変えられないか。	・記載内容について検討していく。
17	目標 VI	・教育的な観点から生涯学習を捉えることが必要ではないか。	・誰もがいつでもどこでも生涯を通じて主体的に学習に取り組めるよう、多様な学習の機会を増やすことを記載している。
18	共通 基盤	・35人学級とあわせて、さらにキッズ・プラザを校内につくると、学校が狭くなってしまわないか。	・「中野区区有施設整備計画」や「中野区立小中学校施設整備計画（改定版）」に基づき、個々の学校の改築を進める中で検討する。
19		・子どもたちにとって最善の物的・人的環境整備のビジョンをしっかり持って、保育園や幼稚園の環境を充実してもらいたい。	・充実した園生活を送れるように、保護者ニーズも踏まえた整備を進める。

教育ビジョン（第3次）改定に伴う教育委員会における主な意見

第2章 中野区が目指す教育の姿

《教育理念》

「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」

- ◆子どもたちは自分の可能性を伸ばし、豊かな人間性・社会性や確かな学力、健康・体力などの「生きる力」を身に付けている
- ◆一人ひとりが学校や地域のつながりの中で自分らしく学んでいる  
(改定前：一人ひとりが自立し、地域社会の一員として、生きがいをもって生活している)

《目指す人物像》

- ◆自らの力で道を切り拓く、進取の気概を持った人
- ◆多様な人間性を認め合い、思いやりにあふれる人
- ◆公徳心を持ち、共に社会をつくっていける人  
(改定前：公徳心に富み、社会に役立つ人)
- ◆家族、わがまち、祖国を愛し、人とのつながりを大切にする人  
(改定前：家族、わがまち、そして自らの祖国を愛する人)

【教育委員会での主な意見】

教育理念についての意見

・学校、子どもということが区の教育政策の中でも大きな部分を占めており、教育大綱よりもやや子どもに沿ったものとして、学校教育を念頭に置いたもので学校の先生方にも教育理念を自分たちが生かしていくにあたって、実現していただきやすいものにすべきである。

・「一人ひとりが自立し、地域社会の一員として生きがいをもって生活をている」について、小さな子どもから大人までということを考えてときに、「自立し」の部分が合わない。

・教育大綱では、「自分らしい学び」、「一人ひとりが自分の可能性を踏まえ、考えながら自分らしく学べる」ということが盛り込まれており、「自立」より「自分らしく学べる」という表現が良い。

・文部科学省の「個別最適な学び」や「協働的な学び」でもそうであるように、つながりから学べる、地域や社会、仲間ともつながりながら学べるということを教育理念で明確にするべきである。

・特にコロナで学校行事や対面の教室での仲間との交流ということの保障も教育課題となっている中、協働してつながっている意味を含めるべきである。

#### 目指す人物像についての意見

・「社会に役立つ人」というのは、教育大綱での議論を踏まえると、表現が強い印象がある。もちろん社会に役立つ場面があって良いことではあるが、人はその時その時で社会に助けられる場面もあり、様々な理由で役立てない場面もある。

・人それぞれ、いろいろな社会参加、貢献の仕方があって、それが結果的に社会に役立っている。教育大綱の「社会に参加する」という表現と整合性を図るべきである。

・いろいろな理由で愛せない人もいる。愛することが目的ではなくて、愛した上でどう関わっていくか、関係をつくっていくか、参加していくかという「つながる」ことが目的であると思う。

## 中野区教育大綱と中野区教育ビジョン（第4次）

中野区教育大綱（素案）11月4日 総合教育会議資料の要約		中野区教育ビジョン（第4次）素案	
<p>【基本理念】つながりの中で、誰もが自分らしく学べるまち なかの ～学校や地域で、誰もが自分らしく学べる。学びや参加の中で、人と人がつながる。そして、つながりの中で、新たな活力が生まれる～</p>		<p>【教育理念】「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」 ◆子どもたちは自分の可能性を伸ばし、豊かな人間性・社会性や確かな学力、健康・体力などの「生きる力」を身に付けている ◆一人ひとりが自立し、地域社会の一員として、生きがいをもって生活をしている</p>	
<p>【方針1】 誰もが「自分らしく」学べる教育の推進 ～全員が参加する社会の実現を目指し、学校・地域での学びを支援する～</p>	（視点）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感や、チャレンジする力が育っている</li> <li>・学び合う心、健やかな身体が育っている</li> <li>・学びの場を通して社会参加が進み、自分らしく生きられるまちが築かれている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの自己肯定感や自己有用感を育み、生涯を通じて、自ら考え、学び、行動し、自信を持ってさまざまなことにチャレンジする気概と勇気を兼ね揃えた人材を育成します。（視点② P3）</li> <li>・区民の誰もが、気軽に文化芸術に親しめる機会を持ち、自分らしく生き生きと暮らせるよう、いつでもどこでも生涯を通じて自分らしく主体的に学び続けることのできる環境づくりを進めます。（視点⑥ P4）</li> </ul>
	（取組の方向性）	学校教育及び社会教育、個性を生かした教育の推進等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けた取組（目標Ⅱ P13）</li> <li>・区民の生涯学習活動への支援（目標Ⅵ P34）</li> </ul>
<p>【方針2】 「中野らしさ」を生かした教育の推進 ～「多様性」と「地域のつながり」を強みにした教育を実現する～</p>	（視点）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己と他者への理解が進み、多様性が尊重されている</li> <li>・地域とのつながりで、子どもの「生きる力」が育っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多種多様な価値観や歴史・文化を認め合う心、コミュニケーション能力を育みます。（視点② P3）</li> <li>・中野区では、家庭・地域・学校が、同じ目的に向かって相互に連携・協働し合い、それぞれが自らの役割と責任を自覚し、社会全体で子どもの「生きる力」を育てていきます。（視点⑤ P4）</li> </ul>
	（取組の方向性）	学校と地域との連携、教育人材の育成等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な教育活動に基づいた人権教育・道徳教育（目標Ⅲ P20）</li> <li>・地域と学校の連携・協働による地域学校協働活動の推進（目標Ⅴ P31）</li> <li>・中野区コミュニティ・スクールの推進（目標Ⅴ P31）</li> <li>・教育人材育成事業（目標Ⅱ P15）</li> </ul>
<p>【方針3】 学びの環境の整備 ～将来にわたって学び続けられるよう、よりよい教育環境を整える～</p>	（視点）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの場が確保され、誰にも学ぶ機会が保障されている</li> <li>・文化・芸術に親しめる環境が整っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の誰もが、気軽に文化芸術に親しめる機会を持ち、自分らしく生き生きと暮らせるよう、いつでもどこでも生涯を通じて自分らしく主体的に学び続けることのできる環境づくりを進めます。（視点⑥ P4）</li> <li>・誰にも学びの場や学ぶ機会が保証されており、子どもたちが安心して充実した学校生活を送れるよう、施設や設備の整備を進めるとともに、学校の情報環境の整備など充実した教育活動を行える基盤づくりを進めます。（視点⑦ P4）</li> </ul>
	（取組の方向性）	施設などの着実な整備、多様な学びの場づくり等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設整備（共通基盤 P41）</li> <li>・区民の生涯学習活動への支援（目標Ⅵ P34）</li> <li>・図書サービス機能の教科（目標Ⅶ P39）</li> </ul>